

「第2次生駒市教育大綱(案)」に対するパブリックコメントの結果について

- 1 案 件 名 「第2次生駒市教育大綱(案)」
- 2 実 施 主 体 生駒市
- 3 意見提出期間 令和2年3月19日(木)～令和2年4月19日(日) (31日間)
- 4 意見提出状況 22件、13人
【内訳】 市HP入力フォーム 22件、13人

5 第2次生駒市教育大綱(案)の周知状況

(1) 公共施設での公表

以下の施設において、意見募集用のチラシ(あり方について(案)の概要を含む)各5部を備え付け。

ー市役所(2階教育総務課・3階市政情報コーナー)、鹿ノ台ふれあいホール、北コミュニティセンターI S T Aはばたき、図書会館、たけまるホール、コミュニティセンター(生駒セイセビル内)、南コミュニティセンターせせらぎ、生駒駅前図書室

(2) 生駒市ホームページへの掲載

(3) 広報いこま 4月号において意見提出の方法や期間を周知

(4) 市議会議員への周知 R2.3.13 市民文教委員会において周知

「第2次生駒市教育大綱（案）」に対するパブリックコメントにおける意見及び市の考え方

No	分類項目	意見の内容	意見に対する市の考え方	修正内容
1	生駒市教育大綱の特色について	●P.1【2(1)関係者や市民と『協創』による策定】とあるが、パブリックコメントだけで市民と『協創』したとは言えないと思う。市民も会議に参加できる機会を作ったから、そう言えると思う。パブリックコメントを出しても何も採用されず『原案通り』となるばかりで、市民の意見を取り入れられるとは到底言えないし、とても、雑に扱われているとしか感じない。ここに書くのに時間を取るとは到底言えないし、まともな関係にも関わらず、その扱いに全く納得いかない。『市民も会議に参加する機会を与える』と明記すれば大綱に『協創』と書いてもいいと思うが、そうでなければ書くべきではない。	・「協創」については、様々な場面で、その場面で最も適した「協創」の方法により進めていくものと考えています。パブリックコメントや会議への参加についても、市政参画の一つの手段であり、会議への参加だけでなく教育を含むあらゆるまちづくりの場において市民と行政が共に汗をかく「協創」の機会を設けて、進めていきたいと考えていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。	
2	生駒市教育大綱の特色について	P.1 2 マニフェストや総合計画などとの整合性の確保と効果的な連携について、教育長、教育委員を任命しているのは首長、その時点で対等な関係としての連携など不可能だと思う。教育への政治的介入であるという事実を正当化しているだけに感じる。この項目は消してほしい。漠然とした大綱を具体化する際に全く反対のものが出来上がっているのなら、大綱を策定する目的が見当たらない。この地域力というものが本気で考えられているとは思えない。具体化した事業案との整合性は皆無である。違うものを掲げた方が良いのでは？	教育大綱は、市長が策定するものと地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3で定められています。生駒市自治基本条例において、総合的な市政運営の指針として、総合計画を策定するものとされており、教育大綱も教育行政を進めていく上での根本となる方針と位置付けるものであることから、総合計画との整合性・連携は図っていく必要があるものと考えています。地域力を最大限生かした教育（ひとづくり）によるまちづくりについては、「協創」に基づき、市民の皆さまとともに汗をかきながら進めていきたいと考えています。	
3	生駒市教育大綱の特色について	●P.1.2(2)に『積極的な提携』とあるが、どこで提携するのか明確にするべきだし、何をもってこう言うてるのか？はつきりさせてほしい。	・積極的な連携については、大綱（案）と総合計画や他の関係する計画と積極的な連携を図ることです。しかし、文言が分かりにくいことから、表現をより明確になるよう修正します。	P1 2(2)について、 「～総合計画や他の関係する計画との整合性の確保・積極的な連携を図る～」に修正
4	生駒市教育大綱の特色について	『マニフェストや総合計画などとの整合性の確保と効果的な連携』について法改正されても、教育委員会は首長からの独立性は保たれるべきだと思います。教育の場に行政との整合性や効果的な連携などを基にすべきではないと感じます。市長が変わるたびにマニフェストとの整合性を確保し、教育大綱も変えていかなければいけないことは、一貫した教育ができていないのではないのでしょうか。	教育大綱は、市長が策定するものと地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3で定められています。生駒市自治基本条例において、総合的な市政運営の指針として、総合計画を策定するものとされており、教育大綱も教育行政を進めていく上での根本となる方針と位置付けるものであることから、総合計画との整合性・連携は図っていく必要があるものと考えています。今回の大綱（案）においては、基本理念の変更は行わず、新たに生じた教育課題等への対応として基本方針を中心に改訂を行いました。	
5	基本理念について	●P.3に平成27年にワークショップ開催とあるが、前回の大綱策定時にはワークショップが開かれていないのに、今回は開催されなかった理由は何か？前回の大綱の反省を含め、今回こそ開催が必要だったのではないかと。不審に思う。	・今回は、前回の策定時に実施されたワークショップを踏まえ、掲げた基本理念については変更を行わず、新たな教育課題への対応として基本方針の変更を中心に改訂を行ったことから、今回はワークショップを実施しませんでした。関係団体や学校長からの意見聴取を行い、基本方針の内容変更にも反映しています。	

No	分類項目	意見の内容	意見に対する市の考え方	修正内容
6	「基本方針1」子育てを楽しめる地域づくりについて	<p>●「いこまびと」の注釈はあるがP.4の「いこまっこ」の注釈はなく、分かりにくい。「いこまっこ」＝生駒市の子ども(幼児・小中学生)だとすれば「いこまっこ」を「いこまびと」にする(なっつらう)為の取り組みが必要だと思う。</p>	<p>・大綱(案)の「いこまっこ」については、ご意見のとおり、いこまの子どもたちを指しています。ご意見を踏まえ、注釈を記載するとともに、基本理念にも示しているとおり、「いこまびと」を育て、いこまを楽しむことができる取組を進めていきたいと考えています。</p>	<p>「いこまっこ」に「(いこまの子どもたち)」の注釈を追記</p>
7	「基本方針1」子育てを楽しめる地域づくりについて	<p>子育て・就学前教育の基本方針「子育てを楽しめる地域づくり」この方針には賛成です。上記項目には「保護者支援の場、就学前教育の環境整備」を謳っておられますが、この点に關し現状の問題点をお伝えしたく意見を投稿させていただきます。</p> <p>令和元年10月1日より、生駒市立の幼稚園8園の預かり保育利用料金が従来の倍額に値上げとなりました。預かり保育無償化の対象を設けて下さってはおりますが、週3日以上かつ1月において64時間以上労働という厳しいものでした。そもそも幼稚園は働くために預ける事を前提としていないので、補助の方向性がズレていると感じます。働く事の重要さは承知しておりますが、共に大切にしていきたいのは多子世帯です。子どもが多いほど、学校、幼稚園行事、予防接種、定期検診等でスケジュールが組みにくく、子どもが大きくなるまでは仕事をすることすら難しいのです。かつ、長期休暇中の預かりがない園はその間どのように働けばよいのでしょうか。</p> <p>以前は、生駒では小学校3年生までの兄弟がいれば保育料半額の補助を受けられました。安倍政権が近く取りくともめ少年化社会対策大綱で子どもが複数いる多子世帯への支援拡充を打ち出すことも報道されました。幼稚園預かり保育に於いても、小学生の子どもがい多子世帯は半額といった減免措置が必要ではないでしょうか。</p> <p>実際、令和元年10月以降預かり保育利用者は無償化の対象となつている家庭で固まりつつあるようです。無償化の対象になるために子どもとの時間を削って仕事を増やした家庭もあります。以前は安心して預けられたのに預けられなくなつて預けにくくなったという保護者の不満の声と共に、子どもは敏感で、いつも同じ人しか預かりに來ないのは何でなのか疑問が生まれ、前みたいいろいろな友達と遊びたいのに子どもからの不満の声も聞きました。</p> <p>以前は小学校の授業参観の時に預けてたけど、料金高いから我慢して連れてつたら案の定騒いでイライラして怒鳴ってしまった、疲れた、帰ったら子どもに説教だという悲しい声もよく耳にします。これは参観のみではなく、常に起こりうる事なのです。預かり保育の利用で子どもとの距離を取り、心を落ち着けてから向き合うという利用方法もあるのです。子どもはいつどこで何をするか分かりません。不測の事態も起こります。兄弟が多いほど、不測の事態も比例して増えます。そんな時に、近くに祖父祖母がおらず安心して預けられるのは幼稚園だけという家庭も多いです。虐待を禁止する一方で、そういった時に心の安定のため幼稚園を取りにくくするのはいかげなものでしょうか。</p> <p>奈良市や、人口統計が生駒に近い橿原市は従来通りの料金設定のままです。このままでは他市との差が開き、市長が掲げておられる「日本一子育てしやすい衛生駒」から離れつつあるのではないのでしょうか。</p> <p>共働き世帯と共に多子世帯も大切に、生駒の未来を担う子どもをみんなと共に育てていただきたく思います。</p>	<p>預かり保育については、昨年10月に保育料の改定を行い、この改定につきましては、多くの方から見直しの声をいただきました。</p> <p>保育料の改定後、改めて利用者の方々のご意見を伺うなど、利用実態を把握した結果、本年4月からより利用しやすい形へと見直しをさせていただきました。</p> <p>大綱(案)でもお示しいているとおり、今後も適切にニーズ等を踏まえて、就学前教育のサービスを提供していきたいと考えています。</p>	

No	分類項目	意見の内容	意見に対する市の考え方	修正内容
8	教育大綱全般に関する こと	●アクションプランの案も出ているようだが、それについてのパブリックコメントの募集やワーキングショップの開催はしないのか？しないなら『市民と協創』とは言えないと思うし、このコロナの状況下で、どう協創体制取るつもりか？はっきりとした体制を示すべき。別件ですが、ここにメール送信した途端、迷惑メールが大量に届くようになりまし。確実ここからです。セキュリティが甘いのは？即刻確認すべきだと思ひます。	・アクションプランについては、大綱で示した基本方針に基づく具体的な取組を示したもので、毎年度見直し続けるものとなっており、生駒市パブリックコメント手続条例において、パブリックコメントの対象とはなっていません。しかし、アクションプランは教育大綱に基づき策定されるものであることから、今回のパブリックコメントを経て策定された大綱の基本理念や基本方針に即した取組を進めていくこととなります。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、今後の「協創」体制については、課題ではあります。その手法を検討し、様々な手法により進めていきたいと考えています。なお、パブリックコメントで提出いただいた個人情報については、厳重に管理し、他の目的以外で利用することはありませんので、ご理解いただきますようお願いいたします。	
9	その他	生駒南中学校のグランドデザインに関してです。その中に、「チーム南中～目指せあいさつ 日本一から世界一へ」とあります。私は強烈な違和感を覚えました。南地区ではあいさつ運動を推進しています。そのやり方や効果に疑問があります。それはそれとしてこの運動に悪乗りしたのではないかと思います。なお、私は南中の生徒から挨拶を受けたことはこの15年間1回もありません。教育現場で絶対にやっではないけないことは、～エビデンスの裏付けのない話～大ぼらをふくこと です。南中のスローガンはこれらに完全に反しています。教育指導課や当時の校長にもお話ししましたが、問題意識を持ち合わせしていないようでした。情けなくて涙がでました。南中の生徒が可哀そうです。大所高所からの教育大綱も結構ですが、教育現場にありです。是非とも現場にめっことを入れてください。歪んだ教育は生徒を被害者にします。	第2次生駒市教育大綱(案)では、「地域力を最大限生かした教育(人づくり)によるまちづくり」を特色の一つとして、基本方針2において、「地域に開かれ、地域とともにある学校づくり」を推進することとしています。この取組の推進にあたっては、学校を拠点とするコミュニティ・スクールを活用して、保護者・地域住民・学校が一体となって、子どもたちの豊かな成長を支え育んでいきたいと考えています。生駒南中学校の取組については、学校が地域の中にあり、その地域の中で生徒が生活していることを感じることができ活動の一つとして取り組んでいるものと理解しています。ご意見のとおり、教育現場にあることを十分理解した上で、教育現場の状況を適切に把握し、大綱(案)で掲げている基本理念・基本方針を現場においても実現していきたいと考えています。	
10	その他	『関係者や市民への「協創」による策定』については、この大綱をもとに学校適正規模の話も出たはずだが、地域限定の校区見直しは住民の意見を聞くつもりがなく、結果ありきの話し合いにもつこうとしていることは果たして「協創」といえるだろうか？「地域限定の校区見直しはしない」というのがそもそも学校適正部会の前提であったはずなのに、「地域限定の校区見直しも視野に入れる」とはどういうことなのか？！住民や保護者を裏切っている。「協創」とはどういうつもりなのかご回答いただきたい。	「協創」については、大綱(案)の1ページの注釈にお示しているのとおり、生駒市のまちづくりを進めるための新しい概念として、教育においても、その概念のもと取り組んでいくことを基本理念において掲げています。生駒市学校教育のあり方検討委員会からの答申で示された「今後の生駒市立小・中学校のあり方について」の今後の進め方に関しては、前回の総合教育会議においても協議させていただいたとおり、関係者からの丁寧な協議のもと進めていきたいと考えています。	

No	分類項目	意見の内容	意見に対する市の考え方	修正内容
11	その他	<p>●P.4 学校教育 基本方針2-1「地域に開かれ、地域とともにある学校づくり」の推進、とあるが【生駒南第二小学校】がまさにそのお手本のような学校であるにも関わらず「統廃合(案)」の答申が出されているのは矛盾していると思う。統廃合(案)は直ちに撤回すべきだし、メリットばかりで机上の空論。デメリットなど、実際に通う子どもたちの安全性、命を守ること、イジメ問題、親の負担など到底考えてるようには感じない。協創とは、大きくかけ離れる。</p>	<p>・小規模校と大規模校には、生駒市学校教育のあり方検討委員会からの答申にも示されているとおり、それぞれメリット・デメリットがあると考えられています。生駒市学校教育のあり方検討委員会からの答申で示された「今後の生駒市立小・中学校のあり方について」の今後の進め方に関しては、前回の総合教育会議においても協議させていただいたとおり、答申を重く受け止めていきたいと考え、今回の答申での教育的な視点に加えて、まちづくりの視点等の様々な視点から進めていきたいと考えています。</p>	
12	その他	<p>生駒南第二小学校の合併に反対です。萩の台住宅に2年前に引っ越してきました。スーパーが近くに無いのがネックでしたが駅及び小学校が近いのが理由です。幼稚園の子供がいりますが、この案について周りの親御さんからも懐りの声が多く、その話題ばかりです。南小学校までは道が整備されておらず、車通りが多い歩道が無い場所を歩くことになり非常に危険。特に低学年は1時間近くかかるご家庭もある。登下校時にスクールバスを出せるのか、電車を使うにしても予定していません。6年間の交通費が家計の負担になる。この件について萩の台のシニア世代の方々と話しましたが、萩の台の地価が下がる。今でも売出中だが売れない空き家があり、これからリタイア世代が移住する人間が居なくなり、家が売れず住宅地が廃墟になる。地域住民の事を全く考えていないので。駅近の割には白庭台、登美ヶ丘あたりより土地の価格が安いので、これから10年で若い世代が増える伸び代があり、体感として少子化も増えているのに第二小が無くなることでそれが潰れる。人口が減ったからの小学校合併ではなく、新築を建てやすい様に古家を解体するのに補助金を出す。萩の台駅前に買い物できる施設を誘致する等、人口が増え地域の発展に繋がるような市政を期待します。</p>	<p>生駒市学校教育のあり方検討委員会からの答申で示された「今後の生駒市立小・中学校のあり方について」の今後の進め方に関しては、前回の総合教育会議においても協議させていただいたとおり、答申を重く受け止めていきつつも、関係者からの丁寧な協議のもと進めていきたいと考え、今回の答申での教育的な視点に加えて、まちづくりの視点等の様々な視点から進めていきたいと考えています。既存住宅の解体については、一定の要件のもと解体に要する工事費用の一部を補助する制度を創設し、空き家の解消に努めています。</p>	
13	その他	<p>『地域力を最大限生かした教育(ひとづくり)』によるまちづくり)については、南第二小学校の地域は生駒市の中でも非常に連携がとれ、二小校区ならではの取り組みが学校と地域とをまたいで行われているのは周知のことです。そのような、地域において学校の統廃合の話を出すことなど児童生徒を保護者を地域住民を軽く扱っているとは思えません。これを進めるなら二小の統廃合の案を今すぐ撤回することを求めます。</p>	<p>生駒市学校教育のあり方検討委員会からの答申で示された「今後の生駒市立小・中学校のあり方について」の今後の進め方に関しては、前回の総合教育会議においても協議させていただいたとおり、答申を重く受け止めていきつつも、関係者からの丁寧な協議のもと進めていきたいと考え、今回の答申での教育的な視点に加えて、まちづくりの視点等の様々な視点から進めていきたいと考えています。</p>	

No	分類項目	意見の内容	意見に対する市の考え方	修正内容
14	その他	<p>子供を生駒南第二小学校に通わせています。南小学校との統廃合が行われるかもしれないと聞いています。先日第二小の親御さん達が子供達と一緒に萩の台駅周辺から南小学校への道を画像にて送って頂きましたが、かなり通学路としては危ないのではないかと思います。ガードレールのない場所や、かなり狭い道で車とすれ違わないといけない等とても心配です。子供達の安全を第一に考えると、統廃合は本当にしなければいけないのでしょうか…</p>	<p>生駒市学校教育のあり方検討委員会からの答申で示された「今後の生駒市立小・中学校の総合教育会議において」の今後の進め方に関しては、前回の総合教育会議においても協議させていた点とあり、答申を重く受け止めつつも、関係者からの丁寧な協議のもと進めていきたいと考え、今回の答申での教育的な視点に加えて、まちづくりの視点等の様々な視点から進めていきたいと考えています。</p>	
15	その他	<p>『第一次生駒市教育大綱を踏まえつつ、4年間で実現すべき新たな方向性を整理』についてパブリックコメントだけで市民と「協創」したとは言えないと思います。何も採用されず「原案通り」となるばかりで、市民の意見を取り入れているとは到底思えません。今なら市民・地域住民の関心が高いことなので、ワークショップを開き新たな方向性を作ってもらいたいです。また通学路の安全を後回しにしている今回の答申について、総合教育会議では異論がなされないのはどういうことでしょうか？ どれだけ素晴らしい学校ができようと、子どもたちが命の危険にさらされながら毎日通学することに、なぜ焦点があたっていないのかお答えいただきたいです。またスクールバスや電車で通学をお考えならば、南第二小学校に統合するほうが、大きなバスも横付けできるし、駅からも安全な道で距離も近いし、利点があります。誰のための教育大綱なのか、今一度考え直していただきたいです。</p>	<p>生駒市学校教育のあり方検討委員会からの答申で示された「今後の生駒市立小・中学校の総合教育会議において」の今後の進め方に関しては、前回の総合教育会議においても協議させていた点とあり、答申を重く受け止めつつも、関係者からの丁寧な協議のもと進めていきたいと考え、今回の答申での教育的な視点に加えて、まちづくりの視点等の様々な視点から進めていきたいと考えています。</p>	
16	その他	<p>子どものこと、特に小学生においては成長著しく同じ対応が出来にくいのに距離は考えず人数だけで処理をしようとしていること、少人数制でしか出来ない細やかな対応を無視したような政策であること、小学校の状況を見て住む地域を検討してきた人が多いのにそれを無視するような政策であること、誰も不満に思っていないのに市の財政上の都合で子どもたちやその保護者や地域の人々に無理強いをすることに反対です。生駒南第二小学校の生徒は3月2日に自ら進んで、昇降口の床のタイルを全て雑巾で水拭きするような立派な生徒さんばかりです。これが二小教育の結果だと思えます。このような道徳教育を育める環境を壊してはならないと思います。</p>	<p>小規模校と大規模校には、生駒市学校教育のあり方検討委員会のあり方検討委員会からの答申にも示されているとおり、それぞれメリット・デメリットがあると考えられています。生駒市学校教育のあり方検討委員会からの答申で示された「今後の生駒市立小・中学校の総合教育会議において」の今後の進め方に関しては、前回の総合教育会議においても協議させていた点とあり、答申を重く受け止めつつも、関係者からの丁寧な協議のもと進めていきたいと考え、今回の答申での教育的な視点に加えて、まちづくりの視点等の様々な視点から進めていきたいと考えています。</p>	

No	分類項目	意見の内容	意見に対する市の考え方	修正内容
17	その他	<p>〈学校教育〉基本方針2の1『地域に開かれ、地域とともにある学校づくりの推進』について、生駒南第二小学校は、生駒市の中でも地域とのつながりが非常に強い小学校です。実際に今年度よりコミュニティスクールも実施が始まりました。なぜ、その学校が統廃合される話ができるのでしょうか？南第二小学校は市が目指している学校と地域とのあり方が現実になってきている学校です。この基本方針を掲げるならば、統廃合の案は白紙撤回していただくようお願いいたします。</p>	<p>ご意見のとおり、生駒南第二小学校の取組については、地域との密接な連携により取り組まれているものと理解しています。</p> <p>生駒市学校教育のあり方検討委員会からの答申で示された「今後の生駒市立小・中学校のあり方について」の今後の進め方に関しては、前回の総合教育会議においても協議させていただいたとおり、答申を重く受け止めつつも、関係者からの丁寧な協議のもと進めていきたいと考え、今回の答申での教育的な視点に加えて、まちづくりの視点等の様々な視点から進めていきたいと考えています。</p>	
18	その他	<p>〈学校教育〉基本方針2の4『子ども一人ひとりの個に対応した学びを充実します。』と書かれていますが、ぜひ個に対応した学びをしていただきたいです。そのためには大人数よりも少人数のほうが、現場の先生方はやりやすいのではないですか？単純に少人数の方がより丁寧に対応できると思います。個の対応に関して、統廃合して1学年や1クラスの人数が増えたときの具体的なメリットはありますか？教えてください。</p>	<p>小規模校と大規模校には、生駒市学校教育のあり方検討委員会からの答申にも示されているとおり、それぞれメリット・デメリットがあると考えられています。このようなメリット・デメリットも踏まえつつ、関係者からの丁寧な協議のもと進めていきたいと考え、今回の答申での教育的な視点に加えて、まちづくりの視点等の様々な視点から進めていきたいと考えています。</p>	
19	その他	<p>学校教育の基本方針に、学校の小規模化にあわせた運営の仕組みづくりを加えて欲しい。統廃合ではなく、その地域にあわせた手法が必ずあるはずです。</p>	<p>小規模校と大規模校には、生駒市学校教育のあり方検討委員会からの答申で示されたメリットがあります。</p> <p>生駒市学校教育のあり方検討委員会からの答申で示された「今後の生駒市立小・中学校のあり方について」の今後の進め方に関しては、前回の総合教育会議においても協議させていただいたとおり、答申を重く受け止めつつも、関係者からの丁寧な協議のもと進めていきたいと考え、今回の答申での教育的な視点に加えて、まちづくりの視点等の様々な視点から進めていきたいと考えています。</p>	
20	その他	<p>1頁 教育大綱4つの特色のうち1 関係者や市民の「協創」による策定について、前回の策定時には、協創として、教育についての作文提出ならびに2日間のワークショップに両日参加可能な方、というハードルの高い条件であったと聞きました。しかも当時はまだ学校統廃合や小中一貫教育のことなど何も聞かされておらず関心も薄かったのだらうと思います。今回ならば協創したいと思う市民は多いと思います。ワークショップ開催されない…本当に市民の想いの協創で策定されるものが疑問に思っています。</p>	<p>生駒市学校教育のあり方検討委員会からの答申で示された「今後の生駒市立小・中学校のあり方について」の今後の進め方に関しては、前回の総合教育会議においても協議させていただいたとおり、答申を重く受け止めつつも、関係者からの丁寧な協議のもと進めていきたいと考え、今回の答申での教育的な視点に加えて、まちづくりの視点等の様々な視点から進めていきたいと考えています。</p>	

No	分類項目	意見の内容	意見に対する市の考え方	修正内容
21	その他	P.1の3、地域力を最大限生かした教育(ひとつづくり)によるまちづくりについて。地域力はどうすれば保たれるのか。今回の今後の生駒市立小・中学校のあり方についての答申を、どう解釈すれば地域力を最大限生かしていると思えるのか、反対に地域力を崩壊に向かわせていると感じる、まちが壊れてしまう。統合するよりもまちづくりの支援をしてもらえないのでしょうか？同じくP.1の4、第1次生駒市教育大綱を踏まえつつ、4年間で実現すべき新たな方向性を整理について。協創すべき点だと思えます。市民に呼びかけワークショップを開催した上で新たな方向性をつくっていただきたいです。今回は市民の皆さんも関心があると思います。各種会議において、関係者、専門家としてのあり方委員会や教育委員会委員でさえも、最終的な見解としてはもっともずっと長いスパンで他の方法も視野に入れながらとの旨の意見が多くあがりましたが、総合教育会議では聞き入れられるのでしょうか？それこそが《協創》だと感じます。	生駒市学校教育のあり方検討委員会からの答申で示された「今後の生駒市立小・中学校のあり方について」の今後の進め方に関しては、前回の総合教育会議においても協議させていただいたとおり、答申を重く受け止めつつも、関係者からの丁寧な協議のもと進めていきたいと考え、今回の答申での教育的な視点に加えて、まちづくりの視点等の様々な観点から進めていきたいと考えています。	
22	その他	P.1の4、第1次生駒市教育大綱を踏まえつつ、4年間で実現すべき新たな方向性を整理について。第1次教育大綱を踏まえたものであるならば、通学路の安全を後回しにしたこの度の答申が出されるということに、度重なる総合教育会議で異論はないのか？スクールバスや公共交通機関さえ使えるようなら安全は確保されるという認識であるならば、逆に生駒南第二小学校に統合した方が、バスも充分乗入れ可能、電車利用でも駅から川を越さずに通学できる、車の送迎も可能である。こどもたちの安全が第一ではないということか、大綱では何を最優先するのか？	生駒市学校教育のあり方検討委員会からの答申で示された「今後の生駒市立小・中学校のあり方について」の今後の進め方に関しては、前回の総合教育会議においても協議させていただいたとおり、答申を重く受け止めつつも、関係者からの丁寧な協議のもと進めていきたいと考え、今回の答申での教育的な視点に加えて、まちづくりの視点等の様々な観点から進めていきたいと考えています。	
23	その他	P.1の1市民は協創させてもらえないように感じる。この大綱を基に学校適正規模の話も出たはずなのに、諮問した専門家、関係者の意見も結局は「想いはあるがなければならぬこと」だと教育長は断言された。地域限定での校区見直しなど、それこそ「結論ありき」の話でしかない。協創であるならばみんなの意見を取り入れるべきところだと思ふ。また、この大綱を作るにあたり、なぜ今回は公募市民とのワークショップはせずに、(案)に対するパブリックコメントのみなのだろうか。小学校統廃合、小中一貫教育の具体案が出てくる今回なら呼びかけられて、作文書いて集まる市民は居る。それでもパブリックコメント制度が機能して、回答に誠意を感じられるものであれば有効であるが、先般の「今後の生駒市立小・中学校のあり方について」のパブリックコメントを例に見れば到底協創などできそうにない。今回のパブリックコメント募集もただ手順をふむための物なのかと不信感を覚える。	生駒市学校教育のあり方検討委員会からの答申で示された「今後の生駒市立小・中学校のあり方について」の今後の進め方に関しては、前回の総合教育会議においても協議させていただいたとおり、答申を重く受け止めつつも、関係者からの丁寧な協議のもと進めていきたいと考え、今回の答申での教育的な視点に加えて、まちづくりの視点等の様々な観点から進めていきたいと考えています。 今回は、前回の策定時に実施されたワークショップを踏まえて掲げた基本理念については変更を行わず、新たな教育課題への対応として基本理念の変更を中心に改訂を行ったことから、今回はワークショップを実施しませんでした。関係団体や学校長からの意見聴取を行い、基本方針の内容変更にも反映しています。	

No	分類項目	意見の内容	意見に対する市の考え方	修正内容
24	その他	<p>市民との協創との言葉に違和感がありました。徹底的な議論を重ねたとは到底言えないと思います。</p> <p>また、地域力を生かしたまちづくりや、子育てを楽しめるまちづくりを推奨されていくことですが、南第2小学校をなくしてしまえば、南地区でのそういういったことは難しくありませんか？わざわざ遠くの地域に足を運び、子供たちのために頑張っている方、下さる方、何人いらっしゃるでしょう…小学校のない地域に、新しく入居される方、何人いらっしゃるでしょう…巷分小、大瀬中においてのみの児童生徒増加で、巷分小学校の運動会などは、場所とり、撮影場所とりにはばかり力が入っているように感じます。かつてはあった、PTAや未就学児童の競技などは全くなっていき、これで、地域力があがるとは言えないですよね？学校も地域も、人が多ければ、良いのでしょうか？</p>	<p>生駒市学校教育のあり方検討委員会からの答申で示された「今後の生駒市立小・中学校のあり方について」の今後の進め方に関しては、前回の総合教育会議においても協議させていただいたとおり、答申を重く受け止めつつも、関係者からの丁寧な協議のもと進めていきたいと考え、今回の答申での教育的な視点に加えて、まちづくりの視点等の様々な視点から進めていきたいと考えています。</p>	